

(別紙 2 - 1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 23 年 9 月 30 日

【事業所概要 (事業所記入)】

事業所番号	4 2 7 1 4 0 2 3 7 4		
法人名	有限会社 アプリール		
事業所名	グループホーム あさひが森		
所在地	〒859-2111 長崎県南島原市布津町甲 489 番地		
自己評価作成日	平成 23 年 9 月 14 日	評価結果市町受理日	平成 23 年 12 月 2 日

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先 URL	
--------------	--

【評価機関概要 (評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 ローカルネット日本福祉医療評価支援機構
所在地	〒855-0801 長崎県島原市高島二丁目七二一七 島原商工会議所 1 階
訪問調査日	平成 23 年 11 月 10 日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点 (事業所記入)】

当事業所は、創設者が地域の保育園を運営しており、保育園や学童保育の交流が気軽に実施できる。本年は、園児と共に人形劇の鑑賞をおこなった。利用者の方も大変喜ばれている。また、芝生付きの東屋にて祭礼の御神輿を受け入れる等、地域交流に力を入れている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点 (評価機関記入)】

開設 10 周年を迎え、ホーム開設時の方針でもある地域の方々が共に集い、子どもも大人も笑顔で楽しんで頂けるように、「あさひが森 10 周年の集い」を地域の方々の協力をえて 10 月 3 日に実施されている。保育園児との交流・中学生の福祉体験やボランティア (あさひが森集いのボード製作) の受け入れ等他に、音楽コンサート・クリスマスでサンタの来訪等利用者が楽しく笑顔で過ごされていることを、いちばんの喜びとして職員は日々努められている。毎月発行される園便りは、行事の様子や職員のコメントを加え、すでに 119 号に至り、家族や地域の方も発行を楽しみにされている。また、ホームの理念及び基本方針にそって、職員としての心構え「親切・挑戦・チームワーク」を目標に利用者の人格を尊重して、温かい心で関わり介護の知識の習得と向上に努められている。

1 自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	あさひが森では「あなたの家庭と同じようになごやかで生き生きした毎日を」の理念のもと、職員会議の最初に必ず全員で唱和し、日々の生活にいかしている。(玄関・事務所等に掲示有り)	理念にそって基本となる方針を意識して、日々利用者に関わる職員としての心構えの目標「親切・挑戦・チームワーク」を掲げられている。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近所の方が入所されているので、地域の方の面会もあり、「あさひが森のつどい」等のホームの行事に近くの老人会の出席もある。秋祭りには、保育園の園児とともに御神輿をむかえている。	2校の中学2年生の福祉体験を受け入れ、進級後に10周年を迎えるあさひが森へのプレゼントを作成する等、訪問後も交流が継続されている。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域にグループホームがある事が、安心感を生み出すような存在でありたいと話している。職員も町内の者が多く、近所の方から、介護に関する事や認知症について、相談を受ける事もあり、気軽に応じている。		
4	3	運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	ホームからの一方的な報告に終わらないように委員の方からの意見、助言を受けて運営に活かしている。またホームで困っている事例を相談し解決の糸口を作ってもらっている。	会議は2ヶ月を目途の実施で、参加者も定着している。行事や利用者の状況の報告や相談に、参加者の助言が得られている。	会議の内容にそって、多方面の機関の方の会議参加を依頼して、会議内容の更なる充実と反映を期待したい。
5	4	市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議に行政の方からの出席もあり、当事業所の取組みは伝えられており、協力関係はできている。	職員の声かけで、介護予防ボランティアの訪問や地域包括支援センターへの相談で協力を得られている。又、更新の手続きで担当職員へ相談もされている。	

6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>庭に出られた時など一緒に草むしりを行い、見守っている。言葉による拘束等を職員間で注意するようにしている。</p>	<p>職員は拘束のないケアを十分に意識して、利用者の様子を見守り、庭の散歩等に伴い、気分転換に努められている。玄関の鍵はされていない。</p>	
7		<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>管理者だけでなく職員も研修等にて、学習する機会を持っている。</p>		
8		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>研修等に積極的に参加している。現在、利用者の中に、自立支援事業を利用している方がおられ、活用の支援をしている。</p>		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>努力している。</p>		
10	6	<p>運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>利用者や家族の言葉から、真意を察し不満が残ったままにしないようにつとめている。</p>	<p>家族が訪問の際に、利用者の状況を報告して、家族との信頼関係を構築されている。参加行事は共に楽しんで頂く様に、声かけをして工夫に努められている。</p>	
11	7	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>毎月1回職員会議を開き役員の出席もある。全体の会議後にユニット毎に小さな会議を開き、職員の意見を反映している。</p>	<p>職員の意見や要望は、改善できる点はすぐに取り組み、改善して反映されている。職員の離職もなくチームワークが保たれている。</p>	

12	<p>就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>職員一人ひとりの話を聞くように努めている。</p>		
13	<p>職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修参加を積極的に勧めている。</p>		
14	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	<p>グループホーム連絡協議会に入会し研修・交流する機会を作っている。また、他のホームの研修に参加させてもらい、良い勉強になった。</p>		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>努めている。よく話を聞くことが一番大切ではないかと考えている。</p>		
16	<p>初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>初期の不安を受け止め、安心感をもってもらえる会話を心がけている。</p>		
17	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>今までの介護での困りごとを、家族の身になってお聞きするようになっている。</p>		

18		<p>本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>個人の能力を見極めて、できることは、一緒におこなうように努めている。</p>		
19		<p>本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>家族のお話を聞き、情報交換しながら、支え合う関係を築いていきたい。</p>		
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>ホーム便りを送付する際、利用者さんの様子もお知らせするようにしている。ご自宅訪問を行う等、関係が途切れないように支援している。</p>	<p>家族の協力で、親戚と会える法事への外出や墓参り等利用者の希望にそって、馴染みの方と出会える機会への支援に努められている。</p>	
21		<p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>職員が、一緒に作業を行ったり、聞こえにくい方には、代弁したりして、コミュニケーションが円滑になるように支援している。</p>		
22		<p>関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>退所された方のご家族で近所の方とは、交流をつづけている。（ホーム便りを送る・つどいの案内を送る等）</p>		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>帰宅願望強い方とは、自宅訪問を試みたり、ご家族に来ていただいたりしながら、本人の思いに添えるように検討している。</p>	<p>利用者一人ひとりの時間を大切に思い、毎日楽しく過ごして頂ける様に寄り添い、温かい心で関わりを持つように努められている。</p>	

24	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>個別に対応する中で今までの暮らしぶりをお聞きし、把握に努めている。</p>		
25	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>一人ひとりの排泄のリズムや食事の状態を把握し、暮らしやすい1日の流れとなるように支援している。</p>		
26	10 <p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>まず、家族と本人の意見を聞き、職員間でも話し合いし計画を立てている。半月ごとに評価を行う。</p>	<p>居室担当の職員が、利用者の状況や家族の希望にそって作成されている。計画は1ヶ月ごとに評価後、会議で内容を検討して見直し、その都度家族に報告されている。</p>	
27	<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>個別に日常生活状況に記録し、情報を共有する。毎日の申し送り、連絡帳も活用している。</p>		
28	<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>柔軟に取り組んでいる。</p>		
29	<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>地域の保育園や学童保育・ボランティア等の交流を楽しんでおられる。</p>		
30	11 <p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>入所前からのかかりつけ医の受診や往診を継続している。</p>	<p>月1回の往診や毎週1回の看護士のアドバイスにより、利用者の健康保持に努められている。歯科は状況に応じて、往診の支援をされている。</p>	

31	<p>看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>医療連携看護師は、非常勤なので、介護職員は、利用者の日頃の様子を把握し、的確に伝えるようにしている。その上で、看護師からの助言を健康管理に生かしている。</p>		
32	<p>入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院されたら、必ずお見舞いに行き、病院関係者に様子を伺うようにしている。戻るところがあるという安心感を持っていただいている。</p>		
33	12 <p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>利用者のご家族の意向を尊重する。その上で、主治医や提携している病院・医療連携看護師の協力を得ながら、方針を共有し支援に取り組んでいきたい。</p>	<p>医療連携及び看取り介護についての同意書を得られている。看取りはないが、家族が看取りを希望される時は、看護師の協力も得て希望にそった対応を考慮されている。</p>	
34	<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>応急手当や初期対応の訓練を受けているが、まだまだ経験不足、勉強不足の職員もいる。継続して、勉強していく。</p>		
35	13 <p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>地域の消防署の指導の下、避難訓練を年2回実施している。スプリンクラーの設置（H21/12）は心強い。近くの自治会には、火災・災害の折の協力を文書にて依頼している。</p>	<p>夜間及び昼間想定訓練の実施と消火器の操作点検も取り組まれている。備蓄は、水・米等配備し、利用者の緊急持ち出しファイルの作成も考慮されている。</p>	

その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個人情報（園だよりの顔写真等）の利用について、同意書を作成して家族及び利用者に説明の上、同意を得られている。今後は、接遇の研修を受講予定である。
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	その人らしさが表せるように、その時々自己決定を支援している。
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースを大切にしていきたい。
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	いきつけの美容院があれば、そちらにお連れする。決まっていな方は、ホーム前の美容院にお連れし、それが地域の交流になっている。その日着る洋服と一緒にえらんで、身だしなみを整えるお手伝いをしている。
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	高齢となり、準備や片付けが、困難になっておられるが、季節の漬物作り等の手伝いをしてもらっている。
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	自室にて、水分がとれるように、ペットボトルにお茶を入れて渡している。献立は栄養士にたててもらい、栄養バランスを考えたメニューになっている。食事がとれない時は、粥、ゼリー等で補うようにしている。
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、各自のブラシ・コップを利用し、口腔ケアに努めている。

43	16	<p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>排泄チェックシートを活用し利用者の排泄のリズムをつかむ。その上で、各自に声かけをして、排泄を促すようにしている。</p>	<p>各居室での排泄誘導の他に、利用者の状況に応じて、夜間時の転倒予防に配慮の上、ポータブルトイレを使用して自立支援に努められている。</p>	
44		<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>食事のメニューに芋類、バナナ、牛乳、ジュースを取り入れる。利用者の排泄に有効な排泄パターンをつかむように支援する。</p>		
45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>曜日・時間帯は決めている。要望あれば、入浴可。しかし、今まで入浴日以外の希望はなかった。入浴できないとき、汗をかかれたときは清拭をしている。</p>	<p>入浴日は月・水・金の午後に入浴剤を入れて、楽しんで頂ける様に工夫されている。入浴拒否は無理をせず、足浴で対応している。</p>	
46		<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>それぞれが自分のペースで、自室で昼寝する人、茶の間でうたた寝する人、自由に過ごしておられる。</p>		
47		<p>服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>受診や往診時に薬が出されたときは、処方箋を確認し、前回との変化をチェックする。薬の服薬間違いのないように、違う人が、見直す。</p>		

48		<p>役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>季節の行事や毎日の歌、体操、趣味の縫い物、編み物、習字等利用者の方にあった楽しみ方役割を考え、支援している。</p>		
49	18	<p>日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>自宅訪問や、美容院、買い物等に同行しているが、これからは、本人の希望に沿った外出の機会を少しずつでも増やしていきたい。</p>	<p>少人数の気軽な外出を、職員の増員をして外出を支援されている。天候や身体状況を配慮して、近隣の文化展等に外出されている。</p>	
50		<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>自分で管理される方は一人だが、金銭管理をホームに依頼されている方は、自分の欲しい物を買う物の人に頼んで買っておられる。</p>		
51		<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>支援している。</p>		
52	19	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居心地よく過ごせるように、支援している。</p>	<p>職員の指導で利用者が書かれた書道や、共同作品の貼り絵が掲示されている。利用者は昼食後、和室のソファでゆったりと寛がれている。</p>	
53		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>自然に、思い思いに居場所を決めゆったり過ごしておられる。</p>		

54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人の好みにあわせ、配置も工夫され、居心地よく生活されている。	各居室にはトイレと洗面所があり、箆笥・仏壇・テレビ等が配置されている。家族の宿泊も出来る広さで、好みの小物が持ち込まれている。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	手すりをつけ、廊下や自室の段差をなくし、自立した生活ができるように支援している。		

アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)		1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)		1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ毎日のように
		2, 数日に1回程度ある
		3, たまに
		4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1, 大いに増えている
		2, 少しずつ増えている
		3, あまり増えていない
		4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11,12)	1, ほぼ全ての職員が
		2, 職員の2/3くらいが
		3, 職員の1/3くらいが
		4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての利用者が
		2, 利用者の2/3くらいが
		3, 利用者の1/3くらいが
		4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての家族等が
		2, 家族等の2/3くらいが
		3, 家族等の1/3くらいが
		4, ほとんどいない

1 自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	<p>理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている</p>	<p>あさひが森では「あなたの家庭と同じようになごやかで生き生きした毎日を」の理念のもと、職員会議の最初に必ず全員で唱和し、日々の生活にいかしている。(玄関・事務所等に掲示有り)</p>		
2	2	<p>事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している</p>	<p>近所の方が入所されているので、地域の方の面会もあり、「あさひが森のつどい」等のホームの行事に近くの老人会の出席もある。秋祭りには、保育園の園児とともに御神輿をむかえている。</p>		
3		<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている</p>	<p>地域にグループホームがある事が、安心感を生み出すような存在でありたいと話している。職員も町内の者が多く、近所の方から、介護に関する事や認知症について、相談を受ける事もあり、気軽に応じている。</p>		
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>ホームからの一方的な報告に終わらないように委員の方からの意見、助言を受けて運営に活かしている。またホームで困っている事例を相談し解決の糸口を作ってもらっている。</p>		
5	4	<p>市町との連携</p> <p>市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる</p>	<p>運営推進会議に行政の方からの出席もあり、当事業所の取組みは伝えられており、協力関係はできている。</p>		

6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>庭に出られた時など一緒に草むしりを行い、見守っている。言葉による拘束等を職員間で注意するようにしている。</p>		
7		<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>管理者だけでなく職員も研修等にて、学習する機会を持っている。</p>		
8		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>研修等に積極的に参加している。現在、利用者の中に、自立支援事業を利用している方がおられ、活用の支援をしている。</p>		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>努力している。</p>		
10	6	<p>運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>利用者や家族の言葉から、真意を察し不満が残ったままにしないようにつとめている。</p>		
11	7	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>毎月1回職員会議を開き役員の出席もある。全体の会議後にユニット毎に小さな会議を開き、職員の意見を反映している。</p>		

12	<p>就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>職員一人ひとりの話を聞くように努めている。</p>		
13	<p>職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修参加を積極的に勧めている。</p>		
14	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	<p>グループホーム連絡協議会に入会し研修・交流する機会を作っている。また、他のホームの研修に参加させてもらい、良い勉強になった。</p>		
<p>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</p>				
15	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>努めている。よく話をお聞きして、安心していただけることが、一番大切ではないかと考えている。</p>		
16	<p>初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>家族からの要望、不安を受け止め、安心感をもってもらえるように努めている。</p>		
17	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>今までの介護での困りごと・心配ごとをお聞きし、家族と共に支援していく。</p>		

18		<p>本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>利用者の方を人生の先輩として尊重し、言葉使いにも注意して接していきたい。</p>		
19		<p>本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>家族のお話を聞き、情報交換しながら、支え合う関係を築いていきたい。</p>		
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>家族や知人との面会時、「次回の面会を楽しみにしています。」と声かけし、関係が途切れないよう支援に努める。</p>		
21		<p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>利用者同士がお互いに無理にならないように、体調に合わせて支援していきたい。</p>		
22		<p>関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>退所された方のご家族で近所の方とは、交流をつづけている。（ホーム便りを送る・つどいの案内を送る等）</p>		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>できるかぎり本人の意見を尊重し支援していく。</p>		

24		<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>まず入所される時に生活歴などを、本人・家族よりお聞きする。その後、会話の中で補足していく。</p>		
25		<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>一人ひとりの排泄のリズムや食事の状態を把握し、暮らしやすい1日の流れとなるように支援している。</p>		
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>まず、家族と本人の意見をお聞きする。その要望を元に、サービス担当者会議を実施する。半月ごとに評価を行う。</p>		
27		<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>個別に日常生活状況に記録し、情報を共有する。毎日の申し送り、連絡帳も活用している。職員会議後のユニット会議、サービス担当者会議でも情報を共有している。</p>		
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>柔軟に取り組んでいる。</p>		
29		<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>地域の保育園や学童保育・ボランティア等の交流を楽しんでおられる。</p>		
30	11	<p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるよう支援している</p>	<p>入所前からのかかりつけ医の受診や往診を継続している。受診・往診は、月に1度であるが、本人の状態、家族の希望に合わせる。</p>		

31		<p>看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>医療連携看護師は、非常勤なので、介護職員は、利用者の日頃の様子を把握し、的確に伝えるようにしている。その上で、看護師からの助言を健康管理に生かしている。</p>		
32		<p>入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院されたら、必ずお見舞いに行き、病院関係者に様子を伺うようにしている。病院よりの情報を共有し、安心して帰社されている。</p>		
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>利用者のご家族の意向を尊重する。その上で、主治医や提携している病院・医療連携看護師の協力を得ながら、方針を共有し支援に取り組んでいきたい。</p>		
34		<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>応急手当や初期対応の訓練を受けているが、まだまだ経験不足、勉強不足の職員もいる。継続して、勉強していく。</p>		
35	13	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>地域の消防署の指導の下、避難訓練を年2回実施している。スプリンクラーの設置（H21/12）は心強い。近くの自治会には、火災・災害の折の協力を文書にて依頼している。</p>		

その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	言葉かけや、対応に注意している。これからも、慎重に対応していきたい。		
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	今どうしたいか、どんな考えを持っておられるかをお聞きしている。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースを大切にしていきたい。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	いきつけの美容院があれば、そちらにお連れする。決まっていない方は、ホーム前の美容院にお連れし、それが地域の交流になっている。その日着る洋服を一緒に選んで、身だしなみを整えるお手伝いをしている。		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	高齢となり、準備や片付けが、困難になっておられるが、季節の漬け物作り等の手伝いをしてもらっている。		

41	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>自室にて、水分がとれるように、ペットボトルにお茶を入れて渡している。献立は栄養士にたててもらい、栄養バランスを考えたメニューになっている。食事がとれない時は、粥、ゼリー等で補うようにしている。</p>			
42	<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>毎食後、各自のハブラシ・コップを利用し、口腔ケアに努め。清潔を保持している。</p>			
43	16	<p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>排泄チェックシートを活用し利用者の排泄のリズムをつかむ。その上で、各自に声かけをして、排泄を促すようにしている。</p>		
44	<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>食事のメニューに芋類、バナナ、牛乳、ジュースを取り入れる。利用者の排泄に有効な排泄パターンをつかむように支援する。</p>			
45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>曜日・時間帯は決めている。要望あれば、入浴可。体調悪く入浴できない時は、洗浄・清拭を行って清潔保持に努めている。</p>		
46	<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>それぞれが自分のペースで、自室で昼寝する人、茶の間でうたた寝する人、自由に過ごしておられる。</p>			
47	<p>服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>受診や往診時に薬が出されたときは、処方箋を確認し、前回との変化をチェックする。薬の服薬間違いのないように、違う人が、見直す。</p>			

48		<p>役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>季節の行事や毎日の歌、体操、習字等利用者の方にあつた楽しみ方役割を考え、支援している。ちり紙折りやトレー拭き、洗濯物たたみ等できることをしてもらっている。</p>		
49	18	<p>日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそつて、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>自宅訪問や、美容院、買い物等に同行しているが、これからは、本人の希望に沿つた外出の機会を少しずつでも増やしていきたい。</p>		
50		<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>自分で管理される方は、通院の帰り等に買い物をしていゑる。金銭管理をホームに依頼されている方は、自分の欲しい物を買ひ物の人に頼んで買っておられる。</p>		
51		<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>支援している。</p>		
52	19	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居心地よく過ごせるように、支援している。（食堂に季節の花を飾つたり、居室の日差しが強いときは、よしずをしている。）</p>		
53		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合つた利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>自然に、思い思いに居場所を決めゆつたり過ごしておられる。</p>		

54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人の好みにあわせ、配置も工夫され、居心地よく生活されている。仏壇を持って来られている方もおられる。		
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	手すりをつけ、廊下や自室の段差をなくし、自立した生活ができるように支援している。		
アウトカム項目					
56		職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)		1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	
57		利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)		1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	
58		利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	
59		利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	
60		利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	
61		利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている。 (参考項目：30,31)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	
62		利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	
63		職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない	

64	<p>通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)</p>		<p>1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない</p>
65	<p>運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)</p>		<p>1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない</p>
66	<p>職員は、生き活きと働けている。 (参考項目：11,12)</p>		<p>1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない</p>
67	<p>職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。</p>		<p>1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない</p>
68	<p>職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。</p>		<p>1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない</p>